

オワタ P 様、三重の人様が制作、投稿された動画「ジエンド」について

謹啓

平素より格別のお引き立てを賜りまして誠にありがとうございます。

この度は、オワタ P 様、三重の人様が制作、投稿された動画「ジエンド」で、弊社および弊社の所属クリエイターの作品を特定する不確実な内容が挙げられていたことにより、日頃応援して下さっているファンの皆様をはじめ、お世話になっているクリエイターの皆様、関係者の皆様には、多大なご心配とご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫びを申し上げます。

動画で掲載されていた内容につきましては、弊社においては事実と異なる内容でありましたが、動画を制作、投稿されたご本人に経緯や意図を確認した上で、双方の共通認識としての事実を特定する必要があると判断し、実際にオワタ P 様、三重の人様とお会いし、情報を共有した上で調査を行いました。

その結果、大半の内容において事実無根、ないし誤認ということが確認されましたので、ご報告をさせていただきます。（一部、調査中の事柄もございます。）

オワタ P 様、三重の人様より、今回の経緯、内容について共同の声明文が公開されております。

【[声明文](#)】ジエンドの動画内容に関しまして】

<http://ch.nicovideo.jp/garunan/blomaga/ar89141>

弊社は、ボーカロイドというマーケットに約 1 年前に参入しました。後発で参入する者として、マーケットに貢献できる明確なビジョンを持って挑みたいという思いがあり、「クリエイター支援」という目標を掲げて、クリエイターの創作活動を取り巻く環境整備、機会創出や地位向上を目指し、アーティスト、クリエイター発信のコンテンツをより多くの人に届ける為のサポート、施策に取り組んで参りました。

しかしながら、今般、こうした私達が目指していたビジョンを覆すような事柄が弊社を特定する形で掲載されるという深刻な事態に直面いたしました。

私達は、クリエイターが自身の作品を自由に投稿できる環境があるということは素晴らしいことだと思います。一方で、情報モラルやネットリテラシーを欠くような確証がない事柄や、誰かを特定して攻撃や断定する内容を作品として発表するという行為は、当事者をはじめ、夢や目標を持って創作活動に取り組んでいるクリエイターや、エンターテインメントを楽しみたいと思っている多くのファンを深く傷付ける凶器と化してしまうということを、ネットで情報を提供する側はあらためて認識すべきであると強く感じました。

それと同時に、私達には未熟で至らないことも多く、関係する皆様にご協力やご指導を頂きながら活動を行ってきている中、このような事態に到った要因は弊社の側にもあると反省し、会社として真摯に受け止め社員一同あらためて気を引き締めて姿勢を正す所存でおります。

この度は、応援して下さっているファンの皆様、関係者の皆様に対し、ご心配をおかけしましたこと、重ねて謹んでお詫び申し上げます。

動画を制作、投稿された当事者であるオワタP様、三重の人様におかれましては、事態の収束に向けて、協力体制にてご尽力頂いております。

今後このようなことが二度とありませんよう、社員、クリエイター一同、より良いエンターテインメントコンテンツの提供、サービスの向上に誠心誠意努力をまいります。

今後ともご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬白

2013年2月3日  
1st PLACE 株式会社  
代表取締役社長  
村山 久美子